

第3節 環境情報の共有と発信

本市では、地域コミュニティ活動や自然環境の保全活動、ものづくりの経験などを通じ、様々な環境情報が蓄積され、ネットワークづくりも進められています。

今後、市民をはじめとするあらゆる主体が多様な情報を共有し、そこから新たな情報や行動を生み出し、発信していくため、情報共有・発信・交流の基盤づくりを進めていく必要があります。また、本市における環境に関する取組を市内外ひいては国内外に、広く発信し、情報の共有化を図るとともに、その情報をもとに多くの人々が訪れるような本市のセールスポイントの効果的な発信を積極的に行っていきます。

1. 世界の環境首都創造に向けた情報発信

環境首都づくりに係る取組や成果を、インターネットによる環境情報ポータルサイト「エコライフネット」や環境首都レポートの作成等により効率的に集約し、環境情報を積極的に受発信できる交流の場を構築しています。

また、マス・メディア、インターネット、関係機関のニュースレター等様々な媒体を利用し、関係組織・機関との連携・協力により、市内はもちろんのこと国内外へ積極的にかつ組織的に情報発信します。

○「エコライフネット」について

北九州市の環境情報を網羅したポータルサイトのことで、運営（管理）主体は、行政ではなく、民間ベースで行っているにもかかわらず利益追求を目的としないため、情報提供者は、行政、企業、大学、NPO、市民団体まで幅広くなっています。また、提供される情報も、最新の行政、大学、企業の取組や市民活動の日程に至るまで、市民にわかりやすい言葉で環境に関する情報を発信しています。

● エコライフネットの管理・運営：

北九州エコライフステージ実行委員会事務局

● 外部リンク：

北九州エコライフステージ、北九州エコタウン、環境ミュージアム、北九州市エコライフプラザ等の各HP



エコライフネットのトップページ
<http://www.ecolife-net.jp/>

2. 低炭素社会の実現に向けた広報戦略

「低炭素社会」の実現に向けては、産・学・官・民が一体となって取り組むことが重要です。そのためにはまず、本市が行う環境モデル都市の取組を市民に知らしめ、低炭素社会の実現に向けた意識の醸成を図るための戦略的な広報活動が不可欠です。

本市はこれまで、マスメディアを活用した広報や、環境情報誌による情報発信、環境関連イベントによるPR活動、PR看板設置など、様々な媒体・機会を活用して情報発信を行ってきました。

(1) 環境マスコットキャラクターの制作の目的

「環境モデル都市」の認知度の向上を図るため、親しみと愛着を感じることでできるマスコットキャラクターを制作することにしました。

子どもたちや学生、主婦層に愛着を持ってもらい、本市の環境に関する取組みや、低炭素社会づくりについて、興味と理解の促進を図っていきます。

(2) 選定過程

市内在住または市内に勤務しているデザイナー及びデザインを専攻している学生等にデザイン案の制作を依頼し、市民投票を実施しました。最も得票の多かった作品を環境マスコットキャラクターとして決定しました。



愛称：「ていたん」
特徴：鼻と口で「エコ」を表現
パンダナに市の花・ひまわりのワンポイントが入っている

(3) 今後の取組み

着ぐるみ子どもたちと触れ合うイベントに登場させたり、冊子・グッズの制作・配布を通じて、目に触れる機会を増やし、「環境モデル都市」の認知度の向上を図っていきます。

「ていたん」＝「北九州市の環境マスコットキャラクター」と認知されるよう、積極的に活用していきます。

3. あらゆる主体による環境政策への参加の推進

環境問題の現状、課題、取組等に係る環境情報を誰でも容易に入手できる体制を整備し、環境行政のあらゆる過程において、市民・NPO、事業者、行政が連携・協働し、知恵を持ち寄り、共に考え、行動し、成果を検証するなど環境政策への参加を一層進めます。

(1) 北九州市環境モデル都市地域推進会議

本会議では、本市の環境モデル都市に関する取組を、市民・NPO・産業界・学術機関が一体となり、総合的かつ効果的に進めていくことを目的としています。

本会議では、環境モデル都市に関わる情報の発信や、事業の推進、進捗状況の検証などを主な活動とし、登録を行っている約380の団体・事業所・個人等で構成されています。

平成20年9月に、北九州市衛生総連合会、北九州市女性団体連絡会議、環境市民活動サポートセンター、北九州青年会議所、北九州活性化協議会、北九州産業学術推進機構、北九州商工会議所、北九州市の産学官民8者を発起人とした「北九州市環境モデル都市地域推進会議」が発足し、現在は、連合福岡北九州地域協議会も加わり9者で同運営委員会を構成しています。

当会議は、「北九州市の全ての関係者が力を合わせて環境モデル都市の推進を図っていく」を設立趣旨として宣言し、「北九州市環境モデル都市行動計画（北九州グリーンフロンティアプラン）」に掲げる取組の推進母体として活動を行っていきます。

◆北九州市環境モデル都市地域推進会議登録団体支援事業（グリーンフロンティア助成）について

「北九州市環境モデル都市地域推進会議」に登録している市民団体、NPO、産業界、学術機関等の団体が実施する環境モデル都市を推進する活動を支援するため、平成21年度から、「北九州市環境モデル都市地域推進会議登録団体支援事業（略称：グリーンフロンティア助成）」を実施しています。

活動団体への支援事業により、本市の地域における環境活動のレベルアップ及び地域全体の意識向上を図り、低炭素社会の実現を進めることを目的としています。

平成22年度は、7団体の活動が選定され支援の対象となりました。

(2) 北九州エコライフステージ実行委員会

本会は市民・NPO・事業者・行政で組織され、環境首都づくりを進めるための情報交流・情報発信及びエコラ

イフの浸透を目的としています。

平成22年度では、「そもそも、なぜエコなんだっけ？～今からできる、あなたにできる“エコ探し”～」をテーマに、日頃実践している環境活動の意味や重要性を再認識しながら取組を進めました。

(3) 北九州市自然環境保全ネットワークの会（自然ネット）

自然ネットは本市の自然環境分野の保全・育成・創成・利用・整備に貢献することを目的として、あらゆる主体がら集まった組織です。会員同士の情報交換や研修を通じて、連携の強化と裾野の拡大を図っています。

平成22年度は、講演会やエコツアーの開催、緑化運動、絶滅危惧種保全活動など、15回にわたる様々な活動の開催や支援を行い、約2,600名の方々が参加しています。

4. 環境情報の収集・整備・提供

地域の環境特性や環境変化の把握などを行うため、生活環境、自然環境、快適環境などの環境情報の体系的な整備とネットワーク化を進め、信頼性のある環境情報が提供できるよう収集・整備を進めています。また、環境情報の提供にあたっては、専門的な環境情報をわかりやすく説明するとともに、インターネット等を活用したタイムリーな提供に努めています。

(1) 環境に関する年次報告書の作成と公表

毎年、本市の環境の状況、環境の保全に関する施策等をまとめた報告書「北九州市の環境」（本編・概要版）を作成しています。本編は、巻末にデータ集として資料編（CD-R）を添付のうえ、有料（1冊：1,000円）で販売しており、概要版（30ページ程度）は無料で配布しています。また、本編、資料編、概要版の全文をホームページで公表しているほか、市立図書館でも閲覧できます。



平成21年度版



平成22年度版